



袋井市民病院

四、大規模災害時における拠点となる病院であること。

五、利用する市民も、勤務する職員も惹きつけられる魅力的な病院(マグネットホスピタル)であるととも、市民の参画可能な開かれた病院(コミュニティホスピタル)であること。

「広域化の必要性」

新病院は五つの基本理念を満たすためにも、今後少なくとも半世紀以上にわたり医療提供体制を堅持し、中東遠地域の医療水準向上に資する「地域中核病院」として構築される必要がある。

当地域では、既に磐田市立総合病院が新磐田市17万5,000人の医療を支えていることから、袋井市と掛川市に存在する2つの市立病院を統合、再編し、疾病の地域内完結を目指すことが望ましい。

「新病院の規模」

新病院の規模は、掛川市立総合病院との統合、再編など広域化を考慮して、おおむね600床程度が適当である。



新病院建設に向けたこれまでの取り組み

平成18年2月15日 「今後の病院のあり方に関する検討委員会」を設置。

10月30日 袋井市の「今後の病院のあり方に関する検討委員会」から5つの基本理念が示され、これを実現するためには掛川市立総合病院との統合が望ましいとの提言をいただく。

平成19年1月4日 掛川市の「掛川市立総合病院のあり方に関する検討委員会」から提言。

2月5日 袋井市議会の「袋井市民病院問題特別委員会」から今後の病院のあり方に関する検討委員会の提言を尊重する旨の提言をいただく。特に市民の利便性の確保と市民に十分理解を求めるよう明記。

3月7日 掛川市議会の「広域行政問題特別委員会」から提言。

3月9日・29日 静岡県主催による「中東遠地域における自治体

立病院会議」が開催され、今回の病院統合にそれぞれの自治体が参加するかどうかの意思確認を行い、御前崎市、菊川市、森町は統合に参加せず、磐田市は袋井市と掛川市が進めようとしている新しい病院については、今後の連携が必要と意思表示。

9月 両市議会において統合に向け協議を開始することを了承。

10月2日 第1回掛川市・袋井市新病院建設協議準備会を開催。

11月1日 第2回掛川市・袋井市新病院建設協議準備会を開催。

袋井市民病院と掛川市立総合病院の比較

項目	袋井市民病院		掛川市立総合病院	
病院建設	昭和54年12月		昭和59年4月	
平成19年4月1日現在の人口(住民基本台帳)	85,169人		120,734人	
許可病床数	400		450	
内訳	一般	398	448	
	感染症	2	2	
看護配置( )	7 : 1		10 : 1	
平成18年度入院患者数	90,730人		131,215人	
	1日平均病床利用率	62.1%	79.9%	
平成18年度外来患者数	173,439人		235,919人	
	1日平均	708人	963人	
平成19年10月1日現在職員数	正規	384人	正規	427人
	非常勤	85人	非常勤	187人
内訳	医師	38人	53人	43人
	看護職	221人	267人	57人
	技師	65人	70人	27人
	事務	26人	29人	6人
	その他	34人	8人	54人
一般会計からの繰り入れ額	6億7,700万円		8億円	
平成18年度決算純損益	6億3,900万円		3億1,700万円	

( )看護配置...入院患者何人に対して、看護師を何人配置するかということ。  
(例)7(入院患者数) : 1(看護師数)



準備会設置で握手する原田英之袋井市長(写真右)と戸塚進也掛川市長(写真左)



なぜ掛川市立総合病院との統合が必要か

袋井市民病院は、昭和54年12月に現在地に移転し、築後27年が経過する中で、建物・設備ともに老朽化が進んでいます。また、掛川市立総合病院も昭和59年4月に建設され、袋井市民病院同様に建て替え時期が迫っています。

さらには、両病院ともに医師不足により患者数が減少し、経営も悪化しています。新病院の建設にあたってはこうした課題を克服する必要がある、医師の確保はもとより、高度医療への対応、救急体制の整備、効率的運営など今後の望ましい地域医療のあり方を考えた場合、両市が協力し合い、新しい拠点病院を建設することが最善であると考えています。



準備会の役割

準備会では、新病院の建設に向けて様々な協議を行う「新病院建設協議会」の年内設置に向け、次のような項目について検討します。

協議会委員の人選

委員には両市の市長や市議会議員、市議会議員、両病院長をはじめ、関連大学、静岡県、経済界、有識者、医療関係者、市民代表の皆さんを選出します。

協議会における協議項目の選定

新病院の将来像をはじめ、建設時期、建設場所、病床規模など協議会で検討していただく協議項目を選定します。

その他

協議会の規約や協議会スケジュールなどについて協議します。

準備会のメンバー

準備会のメンバーは、両市で4人ずつの8人となっていますが、袋井市からは原田市長、小早川院長、原野名誉院長、村田病院事務局長が参加しています。

事務局

事務局は、両市からの職員派遣



掛川市立総合病院

とし、当面は掛川市3人(内1人は兼務)、袋井市は2人とし、今後の進捗状況と合わせて拡充していきます。  
なお、事務局は平成19年11月1日に掛川市役所3階に設置されます。

## 市民説明会を開催します

袋井市民病院の現状と新病院建設に向けての取り組みや統合の必要性など広く市民の皆さんに理解していただくため、市内3箇所で市民説明会を開催します。都合のつく会場に是非お出掛けください。

日	時	所
11月10日(土)	午後1時30分~	中央公民館大ホール
18日(日)	午後1時30分~	浅羽会館大ホール
19日(月)	午後7時~	月見の里学遊館うさぎホール

